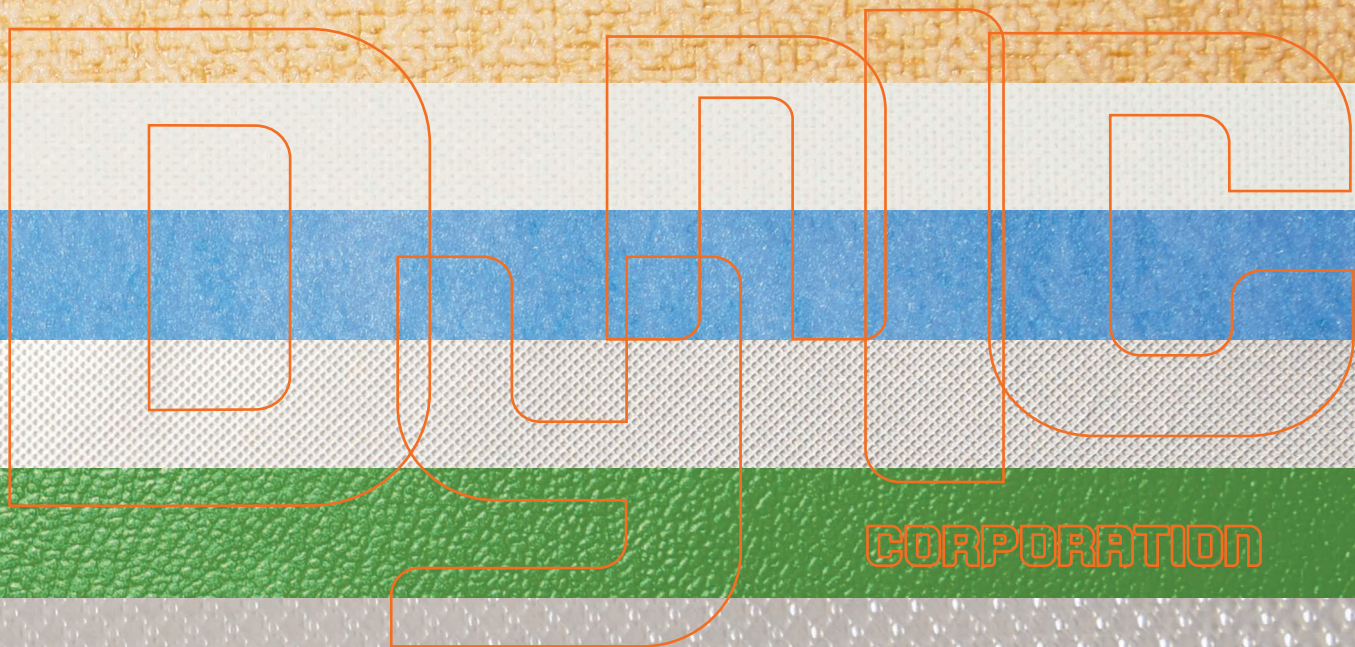


(証券コード 3551)



第 159 期中間報告書

2021 年 4 月 1 日～2021 年 9 月 30 日



ダイニチ 株式会社



株主の皆様には、平素から格別のご高配を賜り厚く御礼申しあげます。

当社グループ第159期中間期（2021年4月1日から2021年9月30日まで）の報告書をお届けするにあたり、一言ご挨拶を申しあげます。

第159期前半期の業績につきましては、新型コロナウイルス感染拡大の影響や原材料価格の高騰もあり厳しい状況にありましたが、輸出の回復、生産体制の効率化等により売上利益ともに前年同四半期を上回りました。中でも印刷情報関連事業と住生活環境関連事業が堅調に推移し、連結ベースで別記のような結果となりました。

後半期の当社グループを取り巻く環境は、引き続き厳しい状況が予想されますが、国内・海外の当社グループと一丸となって、他社が真似のできない高付加価値商品の開発や成長市場への取組みを強化し、持続性のある骨太な企業体質の構築を図ってまいります。

今後ともより一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申しあげます。

2021年12月

代表取締役社長

小田英伸

会社概要（2021年9月30日現在）

商号	ダイニック株式会社 DYNIC CORPORATION
本社	〒615-0812 京都市右京区西京極大門町26 TEL 075-313-2111 FAX 075-313-2116
東京本社	〒105-0004 東京都港区新橋6-17-19(新御成門ビル) TEL 03-5402-1811 FAX 03-5402-3146
創立	1919年8月18日
資本金	57億9,565万円
発行済株式総数	8,504千株
社員数	グループ合計1,254名
営業所/事業所 (グループ含む)	札幌、東京、名古屋、京都、大阪、福岡、 香港、シンガポール、米国、 タイ、英国、中国、インドネシア、チェコ
工場 (グループ含む)	滋賀、静岡、東京、埼玉、栃木、 米国、タイ、英国、中国、インドネシア、チェコ
関連会社	国内7社、海外12社
主要商品	●文具紙工品用クロス ●壁装材 ●出版用クロス ●カーペット ●プリンターリボン ●自動車内装用資材 ●銀行通帳用クロス ●各種フィルター ●フィルムコティング薬 ●不織布 ●磁気関連製品 ●産業用ターポリン ●表示ラベル用素材 ●接着芯地 ●名刺プリンタ ●各種ファンシー商品 ●乾燥し用水分除去シート ●食品包装材料 ●バッグ用フィルム加工 ●紙管紙器

役員（2021年9月30日現在）

取締役会長	大山 石 義 夫
代表取締役社長	山 田 英 伸
取締役	遠 藤 浩 正
取締役	北 村 圭 一
取締役	小 澤 雅 明
取締役	佐々木 一 範
取締役	新 家 隆 啓
取締役	坂 本 岳 正
取締役	中 辻 雄 次
取締役	川 嶋 茂 之
取締役	川 本 信 和
常勤監査役	川 本 雅 也
常勤監査役	川 本 雅 也
監査役	長 谷 川 啓 一

注 取締役辻 正次、川嶋 茂の両氏は社外取締役、また監査役川辺雅也、長谷川啓一の両氏は社外監査役であります。

経営の実績 当第2四半期連結累計期間の概況

当第2四半期連結累計期間（2021年4月1日から2021年9月30日まで）におけるわが国経済は、新型コロナウイルスの感染状況が依然として高い水準で推移し、度重なる緊急事態宣言の延長により、企業活動や個人消費への更なる影響が懸念され、先行き不透明な状況が継続しました。

このような状況のもと、当社グループにおきましては、お取引先をはじめとして関係者の皆様と従業員の安全を最優先に考えた対策をとり、事業活動を進めてまいりました。

コロナ禍によるイベントの減少や各方面での減産等の影響はあるものの、海外市場を中心に市況が回復しつつあることと原価低減効果もあり、前年同四半期比では増収増益となりました。

その結果、売上高は19,208百万円（前年同四半期比9.6%増）となりました。利益面につきましては、営業利益が721百万円（前年同四半期比192.6%増）、経常利益が823百万円（前年同四半期比169.2%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は679百万円（前年同四半期比684.7%増）となりました。

セグメントごとの業績は次のとおりであります。

なお、セグメントの売上高には、セグメント間の内部売上高または振替高が含まれております。

■印刷情報関連事業

印刷被写体においては、産業用の品質表示用ラベルはアパレル用途が海外中心に堅調に推移し、国内では新規開発案件であったリネンサプライ用ラベルの採用が本格化したことで、前年同四半期比増となり、また生産効率向上による原価低減効果もあり増益となりました。

一方で、出版・文具用途ではビニールクロスが海外向けノート表紙材や国内の文具関連が堅調に推移し、前年同四半期比増となりましたが、クロス関連は全般的に市況が悪くコロナ禍以前の水準には戻っておりません。

印字媒体においては、ラベル等の印字用熱転写リボンが、主に食品包材向けが国内外ともに堅調で、また海外ではアパレル用途も堅調に推移し、前年同四半期比増となりました。

また、有機EL用水分除去シートは、医療関連用途や通信機器用途の売上が好調に推移し、前年同四半期比増となりました。

その結果、当セグメントの売上高は8,660百万円（前年同四半期比16.1%増）、営業利益は694百万円（前年同四半期比115.6%増）となりました。

■住生活環境関連事業

不織布は、コロナ禍による影響の大きかった前年同四半期比では大きく増収増益となりました。その中で、空気清浄機等の家電用フィルター類は新規の案件もあり、好調に推移しております。カーペットは、イベント減少で市況は低調ですが、オリンピック需要もあり前年同四半期比では大幅増収となりました。一方で車輛用途は、自動車各社がコロナ禍の影響等から減産となっている為、後半にかけても動向が懸念されます。

産業用ターポリンにおいては、樹脂運搬需要の低下で市況が回復せず、主力であるコンテナの売上が低調で前年同四半期比減となりました。

壁装材は、売上は堅調に推移し前年同四半期比で増収となりましたが、原材料価格の高騰が続く大幅な減益となりました。

衣料用芯地は、前年閉鎖した海外子会社の売上減および、イベント中止や在宅勤務の増加による婦人衣料やスーツ需要の低下等が影響して、前年同四半期比減となりました。

その結果、当セグメントの売上高は6,080百万円（前年同四半期比9.8%増）、営業利益は181百万円（前年同四半期比380.2%増）となりました。

■包材関連事業

食品包材・蓋材は、東南アジアをはじめ海外向けでコロナ影響での消費の落ち込みによる減収と、原材料価格高騰の影響も大きく前年同四半期比で大幅な減益となりました。

一方で、医療用パップ剤用フィルム加工は主に海外向けが堅調に推移し、前年同四半期比増となりました。

食品鮮度保持剤は、コロナ禍で長期保存できる食品向けの需要が伸び、前年同四半期比微増となりました。

その結果、当セグメントの売上高は3,433百万円（前年同四半期比1.9%増）、営業利益は245百万円（前年同四半期比6.4%減）となりました。

■その他

ファンシー商品は、手帳・ダイアリー類の受注減少により前年同四半期比減となりました。

運送・庫内整理は、受注低調で前年同四半期比減となりました。

その結果、売上高は1,658百万円（前年同四半期比6.9%減）、営業利益は49百万円（前年同四半期比15.9%減）となりました。

通期の見通し

下半期も依然としてコロナ禍で当社グループを取り巻く経営環境は引き続き不透明な状況が予想されますが、今後緩やかに経済活動が回復することを前提に以下の数字を予定しております。

			連 結 (対前年比)	
			百万円	%
売	上	高	37,000	(3.2)
営	業	利	900	(6.0)
経	常	利	1,100	(13.6)
親会社株主に帰属する当期純利益			800	(△13.5)

財務諸表の概要（連結）

四半期連結貸借対照表

（単位：百万円）

■資産の部

科 目	前 期 2021年3月31日現在	当第2四半期 2021年9月30日現在
流動資産	21,721	22,950
現金及び預金	2,922	3,342
受取手形及び売掛金	7,389	—
受取手形、売掛金及び契約資産	—	7,421
電子記録債権	3,902	4,145
棚卸資産	7,020	7,276
その他の流動資産	508	786
貸倒引当金	△20	△20
固定資産	30,404	30,661
有形固定資産	20,114	20,107
建物及び構築物	5,274	5,344
機械装置及び運搬具	3,453	3,697
土地	10,181	10,206
その他の有形固定資産	1,206	860
無形固定資産	106	96
投資その他の資産	10,184	10,458
投資有価証券	5,125	5,128
退職給付に係る資産	1,047	1,123
繰延税金資産	373	382
その他の投資	3,681	3,858
貸倒引当金	△42	△33
資産合計	52,125	53,611

■負債の部

科 目	前 期 2021年3月31日現在	当第2四半期 2021年9月30日現在
流動負債	21,685	22,866
支払手形及び買掛金	6,660	7,421
短期借入金	12,791	13,143
未払法人税等	104	324
設備関係支払手形	515	426
関係会社整理損失引当金	—	161
その他の流動負債	1,615	1,391
固定負債	9,801	9,478
長期借入金	5,955	5,802
退職給付に係る負債	325	335
再評価に係る繰延税金負債	1,299	1,299
関係会社整理損失引当金	164	—
その他の固定負債	2,058	2,042
負債合計	31,486	32,344

■純資産の部

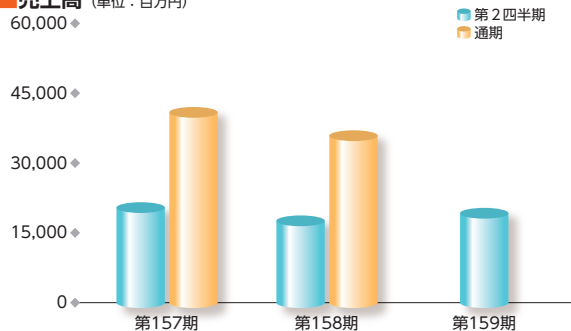
科 目	前 期 2021年3月31日現在	当第2四半期 2021年9月30日現在
株主資本	16,056	16,503
資本金	5,796	5,796
資本剰余金	945	945
利益剰余金	9,348	9,795
自己株式	△33	△33
その他の包括利益累計額	4,240	4,433
その他有価証券評価差額金	1,212	1,211
土地再評価差額金	2,799	2,799
為替換算調整勘定	△319	△103
退職給付に係る調整累計額	548	526
非支配株主持分	343	331
純資産合計	20,639	21,267
負債・純資産合計	52,125	53,611

四半期連結損益計算書

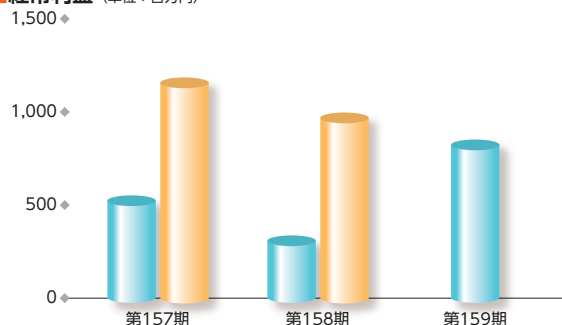
(単位：百万円)

科 目	前第 2 四半期 2020年4月1日～ 2020年9月30日	当第 2 四半期 2021年4月1日～ 2021年9月30日
売上高	17,520	19,208
売上原価	14,319	15,545
売上総利益	3,201	3,663
販売費及び一般管理費	2,955	2,942
営業利益	246	721
営業外収益	275	273
営業外費用	215	171
経常利益	306	823
特別利益	118	263
特別損失	236	149
税金等調整前四半期純利益	188	937
法人税等	124	284
四半期純利益	64	653
非支配株主に帰属する四半期純損失 (△)	△23	△26
親会社株主に帰属する四半期純利益	87	679

売上高 (単位：百万円)



経常利益 (単位：百万円)

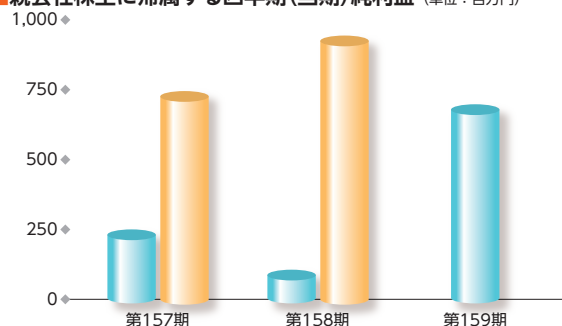


四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科 目	前第 2 四半期 2020年4月1日～ 2020年9月30日	当第 2 四半期 2021年4月1日～ 2021年9月30日
営業活動によるキャッシュ・フロー	740	1,420
投資活動によるキャッシュ・フロー	△760	△918
財務活動によるキャッシュ・フロー	△323	△129
現金及び現金同等物に係る換算差額	△20	45
現金及び現金同等物の増減額	△363	418
現金及び現金同等物の期首残高	3,269	2,668
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,906	3,086

親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益 (単位：百万円)



※「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。これにより従来の計上方法によった場合と比較して、当第2四半期連結累計期間の売上高は136,595千円減少し、売上原価は137,711千円減少し、販売費および一般管理費は774千円減少し、営業利益、経常利益および税金等調整前四半期純利益はそれぞれ1,890千円増加しております。

●新製品、リネンサプライ向けラベル「CP2610HMES」

2013年より、病院白衣、食品工場・飲食店用ユニフォーム、クリーン服（防塵服）の入出庫管理ラベルや名札ラベル、更にはRFIDタグとの接着ラベルとして、リネンサプライ業界で当社製のラベルが採用されています。

リネンサプライ業界は、一般的なクリーニング業とは違い、業者がユニフォーム衣類の在庫を持ち、契約者に対してレンタルを行います。その際の在庫管理等にラベルが必要になります。強い薬剤を使用する業務用洗濯や専用乾燥機に対応するために、ラベルには様々な耐久性が求められます。

この度、クリーン服（防塵服）への安定した耐久性を実現した新製品「CP2610HMES」の販売を開始いたしました。



新製品「CP2610HMES」

●京都本社跡再開発・集合住宅完成

ダイニツク100周年事業として着手した京都本社跡再開発は、京都本社事務所を1階に開設した集合住宅「ニックレジデンス京都」として2021年8月30日（月）に完成しました。

なお、ヒビ割れを軽減する当社製のストレッチ壁紙と、遮音・吸音効果のある当社製のフローリング裏材不織布が全部屋に使用されています。



ニックレジデンス京都

●熱転写インクリボン、食品包材市場における売上拡大

近年、熱転写インクリボンは、食品包材市場で売上を伸ばしています。アルコールや熱処理による殺菌工程や、急速冷凍等の温度差にも強い当社製の熱転写インクリボンは日本国内のみならず、海外グループ各社でも売上を伸ばしております。

また、様々な植物油を使用する香辛料に対応する製品の開発等も行っております。

今後も多様なニーズに合わせた商品開発を進め、海外グループ会社との連携を強化することにより更なる拡販を目指してまいります。



熱転写インクリボン

●フィルター用不織布、アイリスオーヤマ(株)にて採用

アイリスオーヤマ(株)が販売する家電製品に当社製の不織布が使用されています。

同社は収納家具などのプラスチック製生活用品メーカーでしたが2005年から家電の販売をスタートし、他のメーカーにはない便利機能を搭載した家電が好評を得ています。

この度、加湿器および加湿セラミックファンヒーターのフィルターに当社製の不織布が新規採用されました。



当社製不織布フィルターを搭載した「加湿セラミックファンヒーター」

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
基準日	
定時株主総会	3月31日
剰余金の配当	3月31日（中間配当を行なう場合は9月30日）
定時株主総会	6月下旬
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目3番3号
事務取扱場所	みずほ信託銀行株式会社

	証券会社等に口座をお持ちの場合	証券会社等に口座をお持ちでない場合 (特別口座の場合)
郵便物送付先		〒168-8507 東京都杉並区和泉2-8-4 みずほ信託銀行 証券代行部
電話お問合せ先		フリーダイヤル 0120-288-324 (土・日・祝日を除く9:00~17:00)
各種手続取扱店 (住所変更、株主配当金 受取り方法の変更等)	お取引の証券会社等になります。	みずほ証券 本店および全国各支店 プラネットブース（みずほ銀行内の店 舗）でもお取扱いたします。
		みずほ信託銀行 本店および全国各支店(※) (※)トラストラウンジではお取扱でき ませんのでご了承ください。
未払配当金のお支払い	みずほ信託銀行(※) およびみずほ銀行の本店および全国各支店 (みずほ証券では取次のみとなります) (※)トラストラウンジではお取扱できませんのでご了承ください。	
ご注意	支払明細発行については、右の「特別口座の場合」の郵便物送付先・電話お問合せ先・各種手続取扱店をご利用ください。	特別口座では、単元未満株式の買取・買増以外の株式売買はできません。 証券会社等に口座を開設し、株式の振替手続を行なっていただく必要があります。

上場証券取引所	東京
証券コード	3551
公告方法	当社のホームページ (https://www.dynic.co.jp) に掲載します。 ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載します。



〒105-0004
東京都港区新橋 6-17-19（新御成門ビル）
TEL 03-5402-1811 FAX 03-5402-3146



見やすいユニバーサルデザイン
フォントを採用しています。